

経費に対して、引き続き支援してまいります。

消防体制の整備については、「豊浦町消防事業・施設整備10年計画」に基づき、計画的に整備を行い、町民の安心確保を図ってまいります。また、平成28年中に火災が5件発生しており、消防における火災・防災活動のためのさらなる組織力の強化や消防団員の活動および団員の確保に対し、引き続き支援してまいります。

交通安全・防犯対策の充実

交通事故防止および犯罪防止については、交通安全協会・防犯協会等の関係団体と連携し、旗の波運動などを実施し、悲惨な交通事故防止、犯罪の起こらない環境づくりに引き続き努めてまいります。

消費者保護の充実

消費者保護については、昨年度設立いたしました、町消費者被害防止ネットワークにより、お年寄りを狙った悪質な振り込め詐欺や架空請求などの被害が町民におよぶことのないよう、警察や金融機関をはじめ、町内の関係機関と連携した取り組みを推進してまいります。

また、「消費生活モニター」から「消費者啓発員」に名称を変更し、新たな啓発方法としてエイド通信の配布、町内施設への掲示、SNSの活用等の検討を行い、町民に対しての消費生活に関する啓発の取り組みを進めてまいります。

【基本目標 3】

都市圏からの人の流入・移住促進に向けて、働きたい、住んでみたい魅力あるまちづくりを実現する

観光の振興

観光については、昨年度に引き続き、豊浦版DMO（観光地域づくり推進法人）の組織化に向け取り組みを推進するとともに、町民への理解度アップを図り、組織づくりに向けて加速してまいります。

また、小幌駅の存続については、昨年度に引き

続き、町が駅業務の維持管理費用および人的協力・支援の両面において負担し、1年間継続することで、JR北海道と合意いたしました。

このことからその管理に万全を尽くすとともに、ジオパークの重要なジオサイトであり、「小幌洞窟」を含めた小幌周辺を観光資源の核の一つとして、カムイチャシ史蹟公園や「世界の貝」などと「道の駅とようら」や「天然豊浦温泉しおさい」を結び付け、点から線、そして面による観光地域づくりに取り組んでまいります。

観光プロモーション事業として、東京都で開催される「町イチ！村イチ！2017」などに出展し、ふるさと納税返礼品に使用している特産品の販売とともに、観光PRを中心に行うほか、新たに「秘境小幌フォトコンテスト」事業なども行い、町を広くPRしてまいります。

広域観光連携事業では、登別洞爺広域観光圏協議会等の取り組みも活用しながら、町への誘客に努めてまいります。また、観光客の動向やニーズに対応し、隣接エリアと連携しながら、新たな観光の取り組みに向けた協議を進めてまいります。

公園施設等の充実

既存の公園施設等については、昨年度実施した、「各公園施設有効活用検討委員会」の結果を踏まえ、適正な管理を行うとともに、有効活用を検討してまいります。

インディアン水車公園内の付帯利便施設については、農山漁村振興交付金を活用して改修事業を行い、今後、フルシーズンを通して運営できる観光施設としても活用し、産業の活性化、雇用の場の確保、交流人口の増加に努めてまいります。

また、礼文華森林公園の集会所トイレの洋式化、課題である豊浦海浜公園キャンプ場のゴミ回収の実施など、施設を整備することにより多くの方に利用していただく環境を整え、入込数の増加を目指してまいります。



▲交通安全旗の波運動



▲月2回の小幌駅点検業務